

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



テーマ: 食料システム変革の時代における学校給食プログラム

2024年に大阪で開催される世界児童栄養フォーラムの目的は以下の通りです:

- 政府とそのパートナーが学び、経験を語り合い、質の高い学校給食プログラムの構築、維持、拡大におけるインスピレーションを得るための、重要なプラットフォームになること。
- 学校給食プログラム国際調査②の結果や、学校給食プログラムに関するその他の調査、傾向、革新的事象を紹介すること。
- 日本の学校給食プログラムに関する地域、国内、国際的な経験を紹介し、2025年に東京で開かれるアフリカ開発会議 (TICAD) の公式イベントとして機能すること。
- 今後1年間の支援活動を導くために、参加者の優先事項を反映した重要なメッセージを共同で作成すること。
- 学校給食連合 (SMC) と成長のための栄養 (N4G) の目標をサポートすること。

このフォーラムは、外務省、文部科学省、農林水産省、学校給食連合、国際児童栄養振興会の協力により開催されます。

2024年度のフォーラムは、以下の団体からの寛大な支援により実現しました: ロックフェラー財団、チルドレンズ・インベストメント・ファンド、カトリック救援事業会、味の素、Food for Education、The Foundation for Fresh Produce、ナカニシ、ワールド・ビジョン、エデシア、サンク。

アラビア語、フランス語、日本語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語での議題閲覧:



参加者の一覧:



12月9日 (月)

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



時間	イベントと場所	講演者
8:00より前	ホテルで朝食を取り、大阪国際会議場に到着する	
8:00	10階の多目的空間 (ホワイエ): 受付: 名札と歓迎バッグを受け取る	
9:00	10階の多目的空間 (ホワイエ): 受付終了	
9:15 - 11:00	会議室 (1001-1003): 2024年度世界児童栄養フォーラム開会式	<u>司会:</u> - 世界児童栄養基金 (GCNF) アーリーン・ミッチェル 事務局長 <u>講演者:</u> - 大阪府教育庁 大久保宣明 教育監 (5分) - 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 樫原哲哉 企画官 (5分) - JICA人間開発部 野村真利香 国際協力専門員 (10分) - 日本栄養士会 中村丁次 会長 (10分) - 味の素株式会社 森島千佳 執行役員 サステナビリティ・コミュニケーション担当 (5分) - 梅村みずほ 参議院議員 (10分) - ロックフェラー財団 ベティ・キバーラ フード・イニシアチブ・ディレクター (5分) - ケニア共和国 レイチェル・ルト 大統領夫人 (5分間の動画) - ブルンジ共和国 アンジェリン・ンダイシミエ 大統領夫人 (5分間の動画)

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



		世界児童栄養基金 (GCNF) ロナルド・クラインマン 理事長 (5分)
11:00 - 11:45	会議室 (1001-1003): 政府代表団およびパートナー の発表、フォーラムのオリエン テーション	- 国際児童栄養振興会 (ICNJ) 栗脇啓 代表理事 - 世界児童栄養基金 (GCNF) ハイディ・ケスラー 副所長
11:45 - 12:15	会場のメインエントランス: 集合写真	
12:15 - 13:45	12階の多目的空間 (ホワイエ) および特別会議場: 昼食	
13:45 - 14:45	会議室 (1001-1003): 食料システム変革の時代にお ける学校給食プログラム	<u>司会:</u> - SDG2アドボカシーハブ アスマ・ラティーフ 政策 およびアドボカシー・インパクト・チーフ <u>パネリスト:</u> - ザンビア共和国 ダグラス・シャカリマ 教育大臣 - キューバ教育省 メアリー・カルメン・ロハス・ トーレス 国家局長 - ブルキナファソ教育省 イブラヒム・サノン 事務 局長 - マラウイ共和国 マダリツォ・カンバウワ・ウィリ マ 教育大臣
14:45 - 15:00	会議室 (1001-1003): ライトニングラウンド (3分間の プレゼンテーション)	<u>司会:</u> - 世界児童栄養基金 (GCNF) アーリーン・ミッチェ ル 事務局長 <u>講演者:</u> - 中国疾病予防管理センター国立栄養健康研究 所 チャン・チェン 教授

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



		- 国際食糧政策研究所 (IFPRI) リリー・ブリズナ シュカ 特別研究員 - サントメ・プリンシペ国立学校給食プログラム エマニュエル・モントイア・ゴンサルベス・アフォンソ コーディネーター
15:00 - 15:30	10階の多目的空間 (ホワイエ): 休憩	
15:30 - 17:30	<u>ワークショップ1</u> 会議室 (1001-1003) (英語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語): 高栄養価および持続可能な食料システムのための環境配慮戦略の統合 <u>ワークショップ2</u> 会議室 (1009) (アラビア語、英語、ロシア語): 学校給食と総合的な食育の結合: 子供たちおよび学校コミュニティにおける健康的かつ持続可能な食習慣の形成 <u>ワークショップ3</u> 会議室 (1004-1005) (英語のみ): 島嶼国の学校給食 - 事例、機会、提唱 <u>ワークショップ4</u> 会議室 (1006-1007) (英語のみ): インドの生活技能およびフードリテラシープログラム	詳細については、この予定表の最後に記載されているワークショップの概要を参照してください。

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



17:30 - 19:00	12階の多目的空間 (ホワイエ) および特別会議場: 出展者や研究ポスターに フィーチャーした歓迎レセプ ション。	
19:00 -	自由時間	

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



12月10日 (火)

時間	イベントと場所	
8:00より前	ホテルで朝食を取り、大阪国際会議場に到着する	
8:00 - 8:15	会議室 (1001-1003): 発表および声明	<u>発表:</u> - 世界児童栄養基金 (GCNF) ハイディ・ケスラー 副所長 <u>講演者:</u> - Alliance to End Hunger エリック・ミッチェル 会長
8:15 - 9:15	会議室 (1001-1003): 世界の学校給食: 学校給食プログラム国際調査	<u>司会:</u> - 国際食糧政策研究所 (IFPRI) プルニマ・メノン 食品栄養担当シニアディレクター <u>パネリスト:</u> - スリランカ教育省 ガンガ・ディルハニ 教育局長 - タンザニア教育科学技術省 チャールズ・ウィルソン・マヘラ 教育次官 - USDAマクガバンドール リンゼイ・カーター ディレクター - ヨルダン教育省 ハリダ・アルサレ 学校保健栄養課長 - グアテマラ教育省 クラウディア・ヤディラ・ガルシア 大臣顧問
9:15 - 9:45	会議室 (1001-1003): 学校給食の国際的な課題	<u>司会:</u> - 世界児童栄養基金 (GCNF) アーリーン・ミッチェル 事務局長 <u>講演者:</u> - ブラジル外務省 サウロ・セオリン 食料安全保障および栄養担当調整官 (15分)

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



		● 国連 アフシャン・カーン 事務次長補および栄養改善運動 (SUN) コーディネーター (10分) ● 成長のための栄養サミット ブリュール・ポン フランス特使 (5分間の動画)
9:45 - 10:00	会議室 (1001-1003): ライトニングラウンド (3分間のプレゼンテーション)	<u>司会:</u> ● 世界児童栄養基金 (GCNF) アーリーン・ミッチェル 事務局長 <u>講演者:</u> ● タジキスタン共和国 アブドゥサマツォダ・ズルフィヤ 保健社会保障副大臣 ● 国際酪農連盟 ローレンス・ライケン 事務局長 ● カトリック救援事業会 ベルナール・ンディマダガスカル支部長
10:00 - 10:30	12階の多目的空間 (ホワイエ) および特別会議場: 休憩	
10:30 - 12:30	<u>ワークショップ5</u> 会議室 (1001-1003): (英語、フランス語、日本語、ポルトガル語、スペイン語): 日本の学校給食プログラム: 歴史と食育 <u>ワークショップ6</u> 会議室 (1009) (アラビア語、英語、ロシア語): 地産地消の学校給食を通じた、環境に配慮した栄養価の高い食品の需要創出 <u>ワークショップ7</u> 会議室 (1004-1005) (英語のみ): 強化全粒穀物: 食料システム変革の触媒	詳細については、この予定表の最後に記載されているワークショップの概要を参照してください。

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



	ワークショップ8 会議室 (1006-1007) (英語のみ): 変化の担い手としての学生: 学校 給食・栄養プログラムへの学生 の参加	
12:30 - 14:00	12階の多目的空間 (ホワイエ) および特別会議場: 昼食	
14:00 - 15:00	会議室 (1001-1003): 地域学校給食プログラム の最新情報	司会: - カトリック救援事業会 アン・セラーズ 教育技術ディレクター パネリスト: - ラテンアメリカおよびカリブ海地域における持続可能な学校給食のための地域アジェンダ、RAES ナジラ・ペロソ コーディネーター - キルギス共和国 ドグドウルクル・ケンディル バエヴァ 教育大臣 - School Food for Change (ICLEI) ピーター・デフランチェスキ ブリュッセル事務所長 - アフリカ開発のための新パートナーシップ (NEPAD) ビビ・ギヨセ 栄養・食料システム担当上級顧問 - カンボジア国家社会保障評議会事務局 ソフォンレアクスメイ・スレン 政策部長
15:00 - 15:15	会議室 (1001-1003): ライトニングラウンド (3分間のプレゼンテーション)	司会: - 世界児童栄養基金 (GCNF) アーリーン・ミッチェル 事務局長 講演者: - モザンビーク共和国 サンティアゴ・マルケス ミランジュ地区管理者 - 未確定 - 未確定

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



15:15 - 15:30	10階の多目的空間 (ホワイエ): 休憩	
15:30 - 17:30	<u>ワークショップ9</u> 会議室 (1001-1003): (英語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語): マクガバンドール国際食料教育・児童栄養プログラム (米国農務省): 学校給食への支援 <u>ワークショップ10</u> 会議室 (1009) (アラビア語、英語、日本語、ロシア語): 日本の学校給食プログラム: 歴史と食育 <u>ワークショップ11</u> 会議室 (1004-1005) (英語のみ): キッチン - 集中型と分散型: 学校給食業務の効率化 <u>ワークショップ12</u> 会議室 (1006-1007) (英語のみ): 学校給食プログラムへのジェンダー的視点の取り入れ	詳細については、この予定表の最後に記載されているワークショップの概要を参照してください。
17:30 -	自由活動時間	

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



12月11日 (水)

時間	イベントと場所	
8:00より前	ホテルで朝食を取り、大阪国際会議場に到着する	
8:00 - 8:15	会議室 (1001-1003): 発表および声明	<u>発表:</u> - 世界児童栄養基金 (GCNF) ハイディ・ケスラー 副所長 <u>講演者:</u> - Alliance to End Hunger エリック・ミッチェル 会長
8:15 - 9:15	会議室 (1001-1003): 国内資金調達 - 私たちが学んでいること	<u>司会:</u> - 米州開発銀行 (IADB) 教育部門 マリー・エヴァネ・タマニャン シニア・オペレーション・アドバイザー <u>パネリスト:</u> - 韓国教育環境保護院 キム・スヨン チームリーダー - ロックフェラー財団 ベティ・キバーラ フード・イニシアチブ・ディレクター - ラオス共和国教育スポーツ省 ダラ・パコネカム 財務局長 - チルドレンズ・インベストメント・ファンド (CIFF) タリック・テイ 児童健康・発達担当マネージャー - ブラジル教育省国家教育開発基金 (FNDE) フェルナンダ・パコバヒバ 理事長
9:15 - 10:00	会議室 (1001-1003): 将来的なプログラムの継続について	<u>司会:</u> カウンターパート・インターナショナル テレサ・ベッキ レジリエント・フード・システム担当副ディレクター <u>パネリスト:</u>

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



		● モザンビーク教育人間開発省 アルリンダ・シャキス 栄養・学校保健局長 ● モーリタニア国家教育省 シダティ・イネ・ブイエ 学校栄養保健局長 ● ブータン教育技能開発省 カルマ・ワンチュク キャリア教育カウンセリング課長 ● アンゴラEmpresa Carrinho ジョアン・デ・マトス・ビエガス ディレクター
10:00 - 10:30	12階の多目的空間 (ホワイエ) および特別会議場: 休憩	
10:30 - 12:30	ワークショップ13 会議室 (1001-1003) (英語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語): 国際調査結果の利用 ワークショップ14 会議室 (1009) (アラビア語、英語、日本語、ロシア語): マクガバンドール国際食料教育・児童栄養プログラム (米国農務省): 学校給食への支援 ワークショップ15 会議室 (1004-1005) (英語のみ): 大規模な食料供給強化の道のり。アクセスを可能にするためのソリューション。 ワークショップ16 会議室 (1006-1007) (英語のみ): 地元の食材、世界への影響: 地元・地域調達による学校給食の未来	詳細については、この予定表の最後に記載されているワークショップの概要を参照してください。

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



12:30 - 14:00	12階の多目的空間 (ホワイエ) および特別会議場: 昼食	
14:00 - 15:00	会議室 (1001-1003): 変化をもたらすための取り組み	<u>司会:</u> - Nascent Solutions ベアトリス・ワメイ 社長 <u>パネリスト:</u> - コンゴ民主共和国 ライツサ・マル・ディナング 教育大臣 - Food 4 Education ワウイラ・ンジル 創設者兼CEO - エチオピア アディスアベバ市長室広報・国際関係部 メティ・タムラット 部長 - イエメン HSAグループ アディーブ・カセム 経済開発イニシアチブ担当ディレクター - GAIN ミリアム・シンドラー 児童・若者プログラムリーダー - コートジボワール マリアトウ・コネ 教育大臣
15:00 - 15:30	12階の多目的空間 (ホワイエ) および特別会議場: 休憩	

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



15:30 - 17 :30	ワークショップ17 会議室 (1001-1003) (英語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語): 学校給食プログラムの活用による地域経済および栄養豊富な食料システムの確立 ワークショップ18 会議室 (1009) (アラビア語、英語、日本語、ロシア語): 国際調査結果の利用 ワークショップ19 会議室 (1004-1005) (英語のみ): パワーランチ:「学校給食の栄養強化 - より健康的な未来のためのイノベーション」 ワークショップ20 会議室 (1006-1007) (英語のみ): 学校給食の質、基準に達していますか? 学校給食のバリューチェーンに沿った栄養品質のチェックが重要な理由	詳細については、この予定表の最後に記載されているワークショップの概要を参照してください。
17:30-18 :00	会議室 (1001-1003): 声明の総括	Alliance to End Hunger エリック・ミッチェル 会長
18:00 -	自由活動時間	

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



12月12日 (木)

時間	イベントと場所	
8:15 - 9:30	会議室 (1001-1003): 日本の学校給食の今 (現地訪問オリエンテーションを含む)	パート1: 日本の学校給食の今 (20分): - 国際児童栄養振興会 栗脇啓 代表理事 - 新潟県立大学 村山伸子 教授 パート2: 現地訪問オリエンテーション (25分): - 国際児童栄養振興会 吉川テツヒコ氏 - 味の素株式会社グローバルコミュニケー ション部 小笠原和子 部長 - 世界児童栄養基金 リリアン・ビガインプ ンジ 調査コーディネーター - 世界児童栄養基金 ルドミラ・デ・ゴイス 調査アソシエイト - 世界児童栄養基金 シヴァニ・ガーゲ 研 究コーディネーター
9:30 - 13:45	現場訪問	半日かけて、日本の現地学校給食活動の現場を見学 (参加者はグループに分かれて、特定の学校を訪問するか、仮想学校訪問に参加します)。
13:45 - 14:00	10階の多目的空間 (ホワイエ): お弁当の配付および休憩	
14:00 - 15:00	会議室 (1001-1003): 現場訪問の感想報告: 学びの意見交換	世界児童栄養基金 (GCNF) アーリーン・ミッチェル 事務局長
15:00 - 15:20	会議室 (1001-1003): 声明の批准	- Alliance to End Hunger エリック・ミッチェル 会長 (15分) - USDAマクガバンドール リンゼイ・カーター ディレクター (5分)

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



15:20 - 16:00	会議室 (1001-1003): 2024年度世界児童栄養フォーラム閉会式	<u>司会:</u> - 世界児童栄養基金 (GCNF) アーリーン・ミッチェル 事務局長 <u>講演者:</u> - 国連世界食糧計画 (WFP) 飢餓撲滅センター ダニエル・バラバ 所長 (5分) - チルドレンズ・インベストメント・ファンド (CIFF) ラダ・カルナド アフリカ児童健康・発達担当ディレクター (5分) - 若者の視点 (6分) - ケニア ルンチ・バラカさん - カザフスタン ディアナ・ファルザリエワさん - 米国 ガブリエル・ミッチェルさん - 農林水産省 坂田進 大臣官房審議官兼消費・安全局付 (5分) - 日本政府代表/外務省 姫野勉 関西担当特命全権大使 (5分) - 世界児童栄養基金 (GCNF) ロナルド・クラインマン 理事長 (5分)
16:00 - 18:00	ホテルで休憩してから、祝賀ディナーの準備	
18:00 - 18:30	リーガホテルからウェスティンホテル大阪までバス送迎	
18:30 -	ウェスティンホテル大阪	日本の伝統音楽や忍者パフォーマンスを含む祝賀ディナーおよび祝賀会。

12月13日に現地を離れる予定です

フォーラム活動の色分け表示

自由時間

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



会議
ワークショップ/祝賀ディナー
現地訪問
休憩/写真撮影/歓迎会

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



ワークショップの概要:

ワークショップ1、12月9日 (月) 15:30-17:30: 高栄養価および持続可能な食料システムのための環境配慮戦略の統合

場所: 会議室 (1001-1003)

対応言語: 英語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語

ワークショップ運営チーム:

- 国連世界食糧計画 (WFP) 飢餓撲滅センター (ブラジル) ヴィニシウス・リモンジ 計画部長 (ブラジル)
- 国連世界食糧計画 (WFP) 飢餓撲滅センター (ブラジル) アナ・クララ・カタラット プログラムオフィサー
- 国連世界食糧計画 (WFP) 飢餓撲滅センター (ブラジル) マリアナ・カルヴァーリョ プログラムアシスタント
- 国連世界食糧計画 (WFP) 地域事務局 (バンコク) ヴェラ・マイヤー 地域学校給食アドバイザー

内容: 部門間の連携に重点を置き、さまざまな状況から地産地消の学校給食 (HGSF) モデルを理解し、それを実施するためのさまざまな手段に対する批判的分析スキルと洞察を養い、HGSFの実践に関する部門間の議論や国境を越えた知識交換に参加します。

ワークショップ2、12月9日 (月) 15:30-17:30: 学校給食と総合的な食育の結合: 子供たちおよび学校コミュニティにおける健康的かつ持続可能な食習慣の形成

場所: 会議室2 (1009)

対応言語: アラビア語、英語、ロシア語

ワークショップ運営チーム:

- 国連食糧農業機関 (FAO) ファティマ・ハケム 上級栄養士
- 国連食糧農業機関 (FAO) メリッサ・バルガス 栄養ガイドラインおよび基準テクニカルアドバイザー
- 国連世界食糧計画 (WFP) ノラ・ホップス アジア太平洋地域栄養アドバイザー
- ユニセフ シンサール・モゲス 栄養スペシャリスト
- ユニセフモンゴル事務所 ムンクジャルガル・ルブサンジャンバ 栄養担当官
- ユニセフ イエミスラハ・アハメド・フッセン 栄養担当官

内容: 学校給食環境 (学校給食に重点を置く) と学校ベースの食育との相互作用を調査し、学校に通う児童および青少年のより健康的で持続可能な食習慣を促進するための (教育的、社会的、物質的) 問題と優れた実践を特定し、学校に通う児童および青少年のより健康的で持続可能な食習慣を促進するためのエビデンスおよび実践に基づいた推奨事項を学びます。

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



ワークショップ3、12月9日 (月) 15:30-17:30: 島嶼国の学校給食 - 事例、機会、提唱

場所: 会議室3 (1004-1005)

対応言語: 英語

ワークショップの運営チームと島嶼国からの参加者:

- サラ・バークハート博士 (Pacific School Food Network会長、サンシャイン・コースト大学、栄養、健康、食品システムオーストラリア太平洋諸島研究センター 研究リーダー)
- ダニー・ハンター博士 (バイオバーシティ・インターナショナルおよびCIAT主任科学者)
- フィジー国立大学 プラギヤ・シン 栄養学准教授
- オーストラリア太平洋諸島研究センター エロディ・ケイシー 研究員
- 小林潤 教授 (琉球大学/日本国際学校保健コンソーシアム [JC-GSHR] 会長、日本国際保健医療学会 [JAGH] 会長)

内容: 島嶼国における学校給食提供の背景についての理解を深め、島嶼国における学校給食プログラムの利点についての認識を高めるための活動や方法を検討し、島嶼国における学校給食プログラム推進のための活動や方法について学びます。

ワークショップ4、12月9日 (月) 15:30-17:30: インドの生活技能およびフードリテラシープログラム

場所: 会議室4 (1006-1007)

対応言語: 英語

ワークショップ主催者:

- フード・フューチャー・ファンド (インド) アディティ・メロトラ 栄養アドバイザー
- ロータス・バレー・インターナショナル・スクール (インド) リトゥ・ジャワ 副校長

内容: 多様な背景を持つ子供たちのためのライフスキルと食品リテラシーに関する効果的な指導戦略を学び、消費者行動における子供たちの役割を調べて習慣形成ツールを特定し、すべての年齢層のマインドフルな食事とセルフケアの実践について聞き、学際的な指導と評価を通じて学校に通う子供たちの知識と行動の変化について学びます。

ワークショップ5、12月10日 (火) 10:30 - 12:30: 日本の学校給食プログラム: 歴史と食育

場所: 会議室 (1001-1003)

対応言語: 英語、フランス語、日本語、ポルトガル語、スペイン語

ワークショップ主催者およびプレゼンター:

- 国際児童栄養振興会 栗脇啓 代表理事
- 新潟県立大学 村山伸子 教授
- 味の素株式会社グローバルコミュニケーション部 小笠原和子 部長
- 国立健康栄養研究所 瀧本秀美 理事

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



- 京都大学 藤原辰史 教授
- 女子栄養大学 衛藤久美 教授
- 大阪教育大学附属池田小学校 山本加奈 栄養教諭

内容: 日本の学校給食制度の過去130年間における変遷 — その目的、きっかけ、資金、活動、法律などを学びます。日本の学校給食が教育の一部とみなされる理由、さらには日本の「食育」、すなわち学校給食を通じた政策、構造、方法論について学びます。

ワークショップ6、12月10日 (火) 10:30 - 12:30: 地産地消の学校給食を通じた、環境に配慮した栄養価の高い食品の需要創出

場所: 会議室2 (1009)

対応言語: アラビア語、英語、ロシア語

ワークショップ主催者

- 世界児童栄養基金 (GCNF) フランシス・ムワンザ 上級顧問
- 米国国務省世界食糧安全保障局 ベン・マスコヴィッツ 上級政策顧問
- 米国国務省世界食糧安全保障局 オルガ・カベロ 上級栄養顧問
- ダニー・ハンター博士 (バイオバーシティ・インターナショナルおよびCIAT主任科学者)

内容: 環境に配慮した栄養価の高い食品とその重要性についての理解を深め、それらの食品を地元の学校給食プログラムに組み込むための実践的な戦略を探ります。

ワークショップ7、12月10日 (火) 10:30 - 12:30: 強化全粒穀物: 食料システム変革の触媒

場所: 会議室3 (1004-1005)

対応言語: 英語

ワークショップ主催者

- Fortified Whole Grain Alliance デビッド・カマウ マネージング・ディレクター
- ロックフェラー財団 ベティ・キバーラ フード・イニシアチブ・ディレクター

内容: Fortified Whole Grain Alliance (FWGA) について学び、その使命と、強化全粒穀物の使用を開始する国々を支援する上で果たす役割について学びます。強化全粒穀物食品の重要性を探り、パートナーと協力してアフリカ大陸全体で展開しているFWGAの取り組みと影響について理解を深め、強化全粒穀物を学校給食プログラムに組み込むための次のステップと、目的を達成するために必要な支援の種類について話し合います。

ワークショップ8、12月10日 (火) 10:30 - 12:30: 変化の担い手としての学生: 学校給食・栄養プログラムへの学生の参加

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



場所: 会議室4 (1006-1007)

対応言語: 英語

GAIN のワークショップ主催者:

- GAIN ミリアム・シンドラー 子供と若者プログラムリーダー
- GAIN エニ・クルニア・サリ プロジェクトコーディネーター

目的: 学校給食と栄養の取り組みに生徒を積極的に参加させるためのインスピレーション、ツール、戦略を身に付けます。参加者は、生徒がリーダーとして、健康的な食事と持続可能な習慣の提唱者として力を発揮し、オーナーシップと責任感を育むための方法を探ります。

ワークショップ9 12月10日 (火) 15:30 - 17:30: マクガバンドール国際食料教育・児童栄養プログラム (米国農務省): 学校給食への支援

場所: 会議室 (1001-1003)

対応言語: 英語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語

米国農務省のワークショップ主催者

- マクガバンドール ステファニー・ホフマン プログラム・スペシャリスト
- マクガバンドール ヘレン・アウフダーハイデ プログラム・スペシャリスト
- マクガバンドール リンゼイ・カーター ディレクター
- ダイアン・デベルナルド 栄養アドバイザー

内容: USDAマクガバンドール・プログラムに関する重要な情報 (特に優先国の検討と申請プロセスの両方の適格性に関して) を理解し、マクガバンドール・プログラムの下で強力な調整と持続可能性の構築を確保するためのベストプラクティスと事例を検討し、持続可能な食糧供給と学校給食プログラムの管理に対する地元および地域の調達とUSDA寄付商品の貢献に関するベストプラクティスと事例を検討します。

ワークショップ10、12月10日 (火) 15:30 - 17:30: 日本の学校給食プログラム: 歴史と食育
[注: これはワークショップ5と同じ内容になります。同ワークショップの説明をご参照ください。]

場所: 会議室2 (1009)

対応言語: アラビア語、英語、日本語、ロシア語

ワークショップ11、12月10日 (火) 15:30 - 17:30: キッチン - 集中型と分散型: 学校給食業務の効率化

場所: 会議室3 (1004-1005)

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



対応言語: 英語

ワークショップ主催者

- Food 4 Education シャローム・ンディク 政策・パートナーシップ担当責任者
- Food 4 Education ニコラ・オケロ 広報官

内容: 学校給食キッチンを持続可能な形で設計する方法、すなわち集中型と分散型の違いを理解し、持続可能な学校給食運営の文脈的要素を検討し、キッチンモデルの費用対効果を評価する方法を学びます。

ワークショップ12、12月10日 (火) 15:30 - 17:30: 学校給食プログラムへのジェンダー的視点の取り入れ

場所: 会議室4 (1006-1007)

対応言語: 英語

ワークショップ主催者

- CRS エイドリアン・セイバート 栄養シニアテクニカルアドバイザー
- 世界児童栄養基金 (GCNF) リリアン・ビガインブンジ アフリカ調査コーディネーター
- (未確定) チルドレンズ・インベストメント・ファンド (CIFF) イヴオンヌ・ンガアンア アフリカ児童健康・発達担当マネージャー

内容: 特に少女と女性のための学校給食の重要性について学び、ジェンダー平等、女性と少女の地位向上、社会的保護を改善するコミュニティ参加のための現在の戦略に代わるものを検討し、学校給食プログラムにジェンダーの要素を組み込んだジェンダーツールキット/チェックリストを開発することの重要性についての認識を高め、合意します。

ワークショップ13、12月11日 (水) 10:30 - 12:30: 国際調査結果の利用

場所: 会議室 (1001-1003)

対応言語: 英語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語

世界児童栄養基金 (GCNF) のワークショップ主催者

- シヴァニ・ガーゲ 研究コーディネーター
- リリアン・ビガインブンジ 調査コーディネーター: アフリカ
- モーゼス・コリンズ・エクウェメ 調査アソシエイト: アフリカ

内容: 国際調査アンケートの構造と包括的な側面を理解し、一貫したデータ収集と報告の重要性や、各国から情報がどのように収集されたかを理解し、調査結果の使用方法に関する幅広く創造的な一連のオプションを認識し、事務所や機関が調査結果を積極的に使用する方法について、現実的な計画を立てます。

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



ワークショップ14、12月11日 (水) 10:30 - 12:30: マクガバンドール国際食料教育・児童栄養プログラム (米国農務省): 学校給食への支援

[注: これはワークショップ9と同じ内容になります。同ワークショップの説明をご参照ください。]

場所: 会議室2 (1009)

対応言語: アラビア語、英語、日本語、ロシア語

ワークショップ15、12月11日 (水) 10:30 - 12:30: 大規模な食料供給強化の道のり。アクセスを可能にするためのソリューション。

場所: 会議室3 (1004-1005)

対応言語: 英語

ワークショップ主催者

- 国連世界食糧計画 (WFP) アジア太平洋地域局 アルヴィンド・ベティゲリ 地域食品栄養強化アドバイザー
- 国連世界食糧計画 (WFP) アジア太平洋地域局 ノラ・ホップス 栄養担当地域リーダー
- DSM カイ・リン・エク アジア太平洋地域科学翻訳および支援運動責任者
- DCM ジュディ・ブーチェック アジア太平洋地域栄養改善部リーダー

内容: 自分の国/プログラムにおける強化ギャップと成功事例を少なくとも1つ特定し、自分の国/プログラムで実施すべき活動を特定し、ワークショップや会議後の有意義な対話をさらに進めるために仲間とのつながりを構築します。

ワークショップ16、12月11日 (水) 10:30 - 12:30: 地元の食材、世界への影響: 地元・地域調達による学校給食の未来

場所: 会議室4 (1006-1007)

対応言語: 英語

ワークショップ主催者

- CRS ケイトリン・ウェルテ 地方および地域調達アドバイザー
- ワールド・ビジョン リチャード・ンドゥ 最高責任者
- ワールド・ビジョン マンガニ・バンダ 商品マネージャー
- ワールド・ビジョン食糧安全保障・生計部門 プレシャス・ムバンガ シニアマネージャー

内容: 学校給食プログラムにおける地元および地域で調達された食品の利点と障壁を理解し、さまざまな予算額での地元調達食品の決定を検討し、高品質の学校給食プログラムを実現するための戦略的な地元調達の複雑さを検討し、地元調達食品のフローチャートがどのようなものか、バリューチェーン関係者が関与する可能性を学び、食品の安全性と品質管理の重要性を強調し、質の高い

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



学校給食プログラムに地元調達の食料を使用する際の教訓とベストプラクティスについて議論します。

ワークショップ17、12月11日 (水) 15:30-17:30: 学校給食プログラムの活用による地域経済および栄養豊富な食料システムの確立

場所: 会議室 (1001-1003)

対応言語: 英語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語

ワークショップ主催者

- Tailored Food テイラー・クイン 専務取締役
- HarvestPlus Solutions ラビンダー・グローバー 国際事業マネージャー
- CGIAR HarvestPlus ベンジャミン・ユーチテル・ピアース ソリューション・マネージャー

内容: 学校給食プログラムなどの制度的需要が、環境に配慮した栄養価の高い農業技術の採用をどのように促進できるかを探求します。また、学校給食プログラムと地元の農家や食品加工業者を結び付け、栄養価の高い食品への持続的なアクセスを確保する地元調達システムの確立方法を学びます。さらに、食品加工業者が栄養価が高く手頃な価格の食品を地元市場で直接販売するために必要な規模に到達できるようにしつつ、健康的な食事を奨励する学校メニューを作成する方法を理解します。

ワークショップ18、12月11日 (水) 15:30-17:30: 国際調査結果の利用

[注: これはワークショップ13と同じ内容になります。同ワークショップの説明をご参照ください。]

場所: 会議室2 (1009)

対応言語: アラビア語、英語、日本語、ロシア語

ワークショップ19、12月11日 (水) 15:30-17:30: パワーランチ: 学校給食の栄養強化 - より健康的な未来のためのイノベーション

場所: 会議室3 (1004-1005)

対応言語: 英語

ワークショップ主催者

- GAIN ミリアム・シンドラー 児童・若者プログラムリーダー
- サンク レイチェル・テモイ 開発責任者
- サンク ネルソン・ムワンギ 通信および広報マネージャー
- GAIN ソウリヤ・キラル プログラムマネージャー

2024年度世界児童栄養フォーラムアジェンダ



内容: 仲間とともに活気に満ちた協力的な環境に参加し、栄養強化食品を使った学校給食プログラムを強化するための斬新なアイデアやパートナーシップについて語り、実用的かつ迅速なソリューション、チーム構築、および現実世界に影響を与える急速なイノベーションに焦点を当てます。

ワークショップ20、12月11日 (水) 15:30-17:30: 学校給食の質、基準に達していますか? 学校給食のバリューチェーンに沿った栄養品質のチェックが重要な理由

場所: 会議室4 (1006-1007)

対応言語: 英語

ワークショップ主催者

- INTAKE ウィニー・ベル シニアテクニカルアドバイザー
- 国連食糧農業機関 (FAO) メリッサ・バルガス 栄養士
- 国連食糧農業機関 (FAO) ファティマ・ハケム 上級栄養士
- ガーナ大学 グロリア・フォルソン 上級研究員

内容: 学校給食プログラムの栄養目標を達成するために、栄養基準を設定することがなぜ重要なのかを学び、計画、準備、提供される食事の栄養価を測定するための指標とツールを特定し、食事/メニュー基準がどのように設定されているか、および食事/メニューの栄養価の測定に関する他の国/状況での経験を探求します。